

	号外	定価 1部2円	現業評議会の独自交渉実施！職場実態や技術の伝承の観点からの人員確保に向け職場からの闘争強化を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県内 岩手県職員労働組合	

2021現業統一闘争 11.18現業評議会人事課長・主管室課長交渉

完全補充・増員は切実な要望

=完全補充職場決議署名手交・補充求める=

土木運転技士 最終検討段階/要望踏まえ新規補充を
賃金課題 昇給運用改善は課題山積/継続協議へ

11月18日、県職労現業評議会（議長：永洞俊司・畜産研究所分会）は、人員補充、現業職場の直営堅持、賃金改善などを柱とした知事あて要求書の回答を求めるべく、加藤人事課長と交渉を行った。交渉に当たり、現業職員の完全補充を求める職場決議・署名（車庫・県庁各課31分会、土木運転技士・各土木部15分会、技能員・試験研究機関等8分会。計54分会・601筆）を手交し、現業・非現業一体となった職場要求であるとし、前進回答を求めた。交渉では職場実態を訴え、直営堅持と人員補充を強く訴えた。主な交渉結果は次のとおり。



人事課長（右）に職場決議署名を手交



人事課長の見解を質す現業評交渉団

え検討。県土整備企画室と協議をしているが、補充の在り方や配置方法等について、詰めの作業を進めている。いただいた要望は受け止め、適正な配置に向け、あらゆる可能性を含めて検討を進め、内容がまとまり次第示す。

1 各土木部運転技士の配置

（現業評）継続課題である各土木部運転技士の正規運転技士の補充を。土木部運転技士の配置ビジョンの方向性はどうか。

（人事課長）今後の配置必要数、正規配置の必要性、特殊車輛の管理の在り方を踏ま



回答する加藤人事課長



配置求める小野（一関）/小笠原（花巻）運転技士

（現業評）大型特殊機械の管理、災害対応は新規補充してもすぐ対応できない。新規採用と併せ1～2年技術伝承できる体制も考慮すべき。まずは補充の早期方針明示を。

（人事課長）高レベルでの調整は進んでいる。最終的な段階で詰めの作業中、実態を踏まえスピード感を持って対応（裏面に続く）。

2 試験研究機関等の技能員の配置

(現業評) 各試験研究機関の技能員は恒常的に不足、更に会計年度任用職員も減員されるなど厳しい職場実態にある。技能員の増員を行うべき。

(人事課長) 技能員は、これまで定年退職者の補充に関し、主管部局と協議して新規採用を実施。今後も職場の状況や業務の実態等を踏まえ適切に対応。会計年度任用職員も業務の必要性を十分吟味して適正な人員確保に努める。



技能員増員を・藤根技能員(県北農研)

(現業評) 各試験研究機関では研究課題が増加、かつ施設管理も増えた。職場は厳しい、増員を。



見解示す加藤人事課長

3 管財課運転技士・守衛の配置

(現業評) ①管財課運転技士の計画的採用を。②守衛は2022年3月で再任用満期の方がおり、確実な補充が必要だ。

(人事課長) ①は需要見通しなど業務状況を把握し管財課と連携して対応。②は守衛3人体制とし、体制を強化。経緯を踏まえ、管財課と適切に対応。

(現業評) ①運転技士は2022年度に再任用満期の方の新規補充も課題、確実な採用を。②守衛は若手を採用し、ノウハウを継承できるようにすべき。

4 現業職員の賃金改善

(人事課長) 非現業職員との均衡、勤務意欲確保の観点から、非現業職員と同じ人事評価制度を運用するという前提で、勤務成績を踏まえた昇給加算の運用について研究を進める。

(現業評) 現業は人事評価になじまず、人事評価ありきでの昇給運用改善は理解できない。具体的な賃金改善の観点で検討の余地があるかを含め慎重に検討・協議する必要がある。

(人事課長) 皆さんの様々な意見を聞いて研究を進める。過去の経緯を踏まえて議論を重ねたい。

永洞議長から新規補充を前提とした各振興局土木部運転技士の配置ビジョンの早期策定・補充実現、試験研究機関の技能員補充、賃金改善を改めて求め、本交渉を終えた。

◎農林水産企画室・安齊管理課長交渉

(現業評) 各試験研究機関・農大では恒常的に技能員が不足、人員増を。北上農村整備センターのダム管理の技能員配置の対応は。今後、退職者が生じた場合の補充の基本的考え方も確認する。

(農林水) 各機関の実態を踏まえ定数増を要求しているが、厳しいのが実態。退職者の正規補充の要求方針は変わらない。北上農村整備センター技能員の配置等は本人意向を伺い対応を検討する。

(現業評) 現場実態を踏まえた人員配置・新採用の計画的配置を要請する。会計年度任用職員も減員が続き、職場負担が増加。確保のための処遇改善も含めた対策を強く求める。

◎県土整備企画室・吉原管理課長交渉

(現業評) 7月12日に運転技士の複数配置体制が必要であること、振興局土木部の業務実態を詳細に調査し、人事課に対して要求することを確認した。運転技士の正規配置、補充を強く求める。

(県土整備) 運転技士配置がない公署では深刻な課題。正規運転技士の配置がなければ、大型特殊機械の維持管理、災害対策等ができない。部として総務部に複数配置を要求中。早期配置できるよう努力。

(現業評) 退職時に補充してもノウハウの継承はできない。ノウハウ継承ができる採用計画とすべき。

◎管財課・平野総括課長交渉

(現業評) 7月に車庫17人体制維持を確認したが、各課からの要請に十分応えられず、かつ行幸啓業務の増も見込まれる。運転技士の体制拡充をすべき。守衛は再任用満期が1人おり、新採用配置を。

(管財課) 17人体制は維持しつつ、運行状況の推移を見て計画的な採用を検討。行幸啓対応は関係部局と協議のうえ管財課で検討する。守衛3人体制は必要という前提で、後任配置は人事課と協議中。